

平成 31 年度

事務事業評価シート

(中央公民館)

(図 書 館)

(歴史民俗資料館)

総合評価ランク

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

野辺地町教育委員会

目 次

1 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	
（ 1 ） みんなの教室（中央公民館）	67
（ 2 ） 野辺地町文化祭（中央公民館）	68
（ 3 ） 成人式（中央公民館）	69
（ 4 ） 各世代に対応した図書館事業の実施（図書館）	70
（ 5 ） 各種広報活動の充実（図書館）	71
2 次世代を担う青少年の育成	
（ 1 ） 文化少年団活動（中央公民館）	72
3 地域を支える人材の育成	
（ 1 ） 図書館サークル・おはなしボランティアの育成（図書館）	73
4 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	
（ 1 ） 親子ふれあい読書「家読」の奨励（図書館）	74
（ 2 ） 学校等と連携協力した読書活動の推進（図書館）	75
5 社会教育推進のための基盤整備	
（ 1 ） 図書館施設の整備（図書館）	76
6 文化財の保護・保存	
（ 1 ） 県史跡「藩境塚」「野辺地戦争死者の墓所」ほか町内史跡管理（歴史民俗資料館）	77
（ 2 ） 旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理（歴史民俗資料館）	78
（ 3 ） 文化財調査事業（歴史民俗資料館）	79
7 文化財の整備と活用	
（ 1 ） 文化財活用事業の実施（歴史民俗資料館）	80
8 郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承	
（ 1 ） 民俗芸能の保存と継承（歴史民俗資料館）	81
9 資料館施設の整備充実	
（ 1 ） 特別展・各種講習会等の普及事業の開催（歴史民俗資料館）	82
（ 2 ） 資料のデータベース作成・整備事業（歴史民俗資料館）	83
（ 3 ） 館内環境整備事業（歴史民俗資料館）	84

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	みんなの教室	担当者名	大平 佳乃

事業の目的・内容	町民の学習意欲に応えるため、魅力ある教室を開設し町民のふれあいと趣味の高揚を図るとともに生涯学習の一環として実施する。 収入 1,376,257円 (繰越356,250円 受講料1,005,500円 他14,507円) 支出 874,972円 (講師謝金728,720円、文化祭50,000円、事務費81,106円、備品購入費15,146円)			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金額	1,143 千円	1,377 千円	0 千円

事業の実績・成果等(数値)	令和元年5月～10月 各講座、通年活動 中央公民館 (盆栽：受講者宅) 34講座(10教室・24サークル) 延べ受講者数424名 開催回数807回 開講式 4月12日(金) 閉講式 11月7日(木) 3B体操(昼)、コーラス、ハワイアンフラ(1部、2部)、ヨガ(昼)、ヨガ(夜)、太極拳 ちぎり絵・木目込み、レクリエーションダンス、料理、洋裁、3B体操(夜)、フォークダンス(昼) フォークダンス(夜)、エアロビクス、社交ダンス、ハワイアンフラ(夜)、パッチワーク、尺八 箏手芸(昼)、箏手芸(夜)、大正琴(初)、大正琴(中)、和裁、絵画、琴、ひしぎし、盆栽 川柳、囲碁・将棋、短歌、雅楽、俳句、茶道、フラワーアレンジメント			
---------------	---	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	成果：講座数、受講者数ともに微増の状況にあり、各講座において実りある活動に繋がっているのではないと思われる。 課題：高齢化により参加者が固定化傾向にあり、新たな参加者がなかなか増えない。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
	B	A	A	A	B	A	

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

- ・新たな参加者を増やす取組が大事になってくる。
- ・固定参加者がいるのは強みです。これからも継続を。

評価委員意見(平成31年度)

- ・今後もぜひ継続してほしい活動です。参加者の増加により、更に交流の場が明るくなってほしいです。
- ・町民同士のふれあいの場としてとても良いが、減ってきている状況への対策を積極的に行ってほしい。
- ・若い方々も参加しやすいような工夫が必要かと思う。
- ・受講者数が400名を超えてはいるが、参加者が固定化してきているので、少しずつでもよいので事業についての創意工夫をしてもらいたい。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	野辺地町文化祭	担当者名	大平 佳乃

事業の目的・内容	文化祭実行委員会を組織して開催し、芸能部門と展示部門で、日頃の練習成果や学習作品など発表。			
事業の対象	文化振興協議会・みんなの教室・一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	101 千円	102 千円	0 千円

事業の実績・成果等（数値）	○芸能の部・・・舞踊の集い・伝統芸能と音楽の集い 令和元年10月26日（土）～27日（日） 来場者数 788名 ○展示の部・・・絵画、書道、工芸、文芸、手芸、写真等 令和元年11月2日（土）～11月4日（月）3日間 来場者数 1,171名			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：年間を通して活動した成果を発表する場として、意欲的な活動をする参加者が多く、来場者も前年度より大幅に伸びている。 課題：複数の講座に参加している方がいるため、プログラム編成がまとまらずまた、リハーサルが時間通りに進まないことも多々ある。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中演委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		A	B	B	B	A	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・来場者が増えている。連続して出演する方もおり、大変と思われるので、順番を吟味してほしい。 ・町民が大切にしているのが感じられます。

評価委員意見（平成31年度）

・文化祭がある事によって、日ごろの活動の場も有り、町民同士の出会いの場はもちろん、活躍のひとつになっているので、今後も継続してほしいです。 ・展示発表の場があるのは、モチベーションにつながるので継続して行ってほしい。 ・発表の貴重な場であると思うので、継続して欲しい。 ・来場者数が800名近く、町民が楽しみにしている行事。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	中央公民館
事務事業名	成人式	担当者名	大平 佳乃

事業の目的・内容	平成元年度中に20歳に達する、新成人の門出を祝うため、成人式を開催する。			
	新成人参加対象者：119名 当日出席者：86名			
	収入 559,000円	成人者より負担金（1,000円）を徴収し、写真代・送料に充てる		
事業の対象	支出 412,580円	記念品 228,000円	写真代・送料等 77,000円	
		印刷費 89,100円	郵便 18,480円	
	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの人			
事業費	年度	平成30年度決算	平成31年度決算	令和2年度予算
	金額	279千円	559千円	1,304千円

事業の実績・成果等（数値）	1、ビデオ上映（野辺地町PR映像） 2、町民憲章朗読（成人者2名）本文は、成人者全員で読み上げる。 3、式典・式辞 野辺地町長 ・祝辞 野辺地町議会議員 ・はたちの提言（成人者 3名） ・自己紹介（成人者全員） ・記念品贈呈 ・誓いの言葉（成人者 1名） 4、記念写真撮影 主催者来賓等出席者 約144人
---------------	---

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☐ おおむねできている	☒ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	成果：大人になったことを自覚する日となり、町民皆で祝い励ます式典である。 課題：成人者の代表（はたちの提言・誓いの言葉）の人選に毎年苦労している。 保護者の参加が多く、全員がホール内に着席しきれなかった。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	C	B	B	C	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・町内在住の方が参加率が良くない原因を明らかにし、対策を立ててほしい。

評価委員意見（平成31年度）

・毎年、20歳を迎える祝いの場に、たくさんの参加と共に保護者の方々も参加されるので、会場及び開催方法等を検討してほしい。

・昨今の状況を踏まえ、子供1人に対し、保護者2人又はそれ以上に付き添いが来ることは予想できるので、しっかりした対応を期待する。

・参加したいと思える成人式、参加して良かったと思える成人式であって欲しい。

・アフターコロナでの成人式はどうあればよいか？非常に難題ではあるが、一生に一度の記念なので、どのように開催するかは、アイデアを広く求めたいところ。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	図書館
事務事業名	各世代に対応した図書館事業の実施	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	生涯学習施設の拠点として、0歳から高齢者までを対象とした各種事業を実施し、趣味や学習の場を提供するとともに、読書の推進と文化の振興を目的に実施する。			
事業の対象	町民（乳幼児、小・中学生、一般）			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	38 千円	38 千円	40 千円

事業の実績・成果等（数値）	【乳幼児】 ヨチヨチおはなし会（10回・親子45組延べ95名） 出前おはなし会（1回・59名） 【小・中学生】 第59回読書マラソン（1回・83名）、おはなし工房（11回・80名）、 子ども映画会（3回・27名）、第11回のへじふるさとカルタ大会（1回・25名） 【一般】 文学散歩（1回・25名）、大人の工作会（1回・7名） 【全年齢】 読書deスタンプラリー（2回・107名）、本の展示（通年）			
---------------	--	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	【成果】 乳幼児から一般向けの事業を幅広く実施し、図書館を通して学習の機会を提供することができた。 【課題】 乳幼児や児童が図書館に来るためには、保護者の存在が不可欠のためまず保護者が図書館に興味を持ってもらえるような取り組みを検討したい。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中演委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・幅広い年代を対象とした行事があつて大変良いので、継続してほしい。

評価委員意見（平成31年度）

・とても良い事なので継続してほしいです。

・たくさんの事業を積極的に行い、本にふれあう機会を増やしたいという思いが伝わり、真に評価できる。

・読書マラソン、お話工房、読書deスタンプラリー等、結構な数の参加者がいるので、その人たちの感想などを広報等に載せてみてはどうか。

事務事業評価シート

施 策 名	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	担当課名	図書館
事務事業名	各種広報活動の充実	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	各世代に対応した細やかな広報活動を行い、図書館事業や読書活動を推進する。		
事業の対象	町民（乳幼児の保護者、小学生、中学生、一般）		
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算
	金額	70 千円	70 千円
			令和 2 年度予算
			70 千円

事業の実績・成果等（数値）	○世代別図書館だよりの発行。 ・「ほんわか」乳幼児の保護者版図書館だより 2回・各380部 ・「わくわく」わんぱく図書館だより（小学生） 3回・各550部 ・「ティーンズ」図書館通信（中学生） 2回・各300部 ・図書館だより（一般） 2回・各5,550部		
	○ホームページ及びツイッターによる迅速な情報提供。（H22からの累計） HPアクセス数：1,941,955件、ツイッター数：1,390ツイート（R2.4.1日現在）		
	○その他 ・ブックスタートでの図書館・行事案内		

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 各世代にあわせた広報活動を実施することができている。 【課題】 ホームページの内容が多様多様なため更新が追いつかない面が多く、またHP作成から10年以上経過しリニューアルの検討が必要である。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・ホームページもツイッターも平成22年から10年が経過しているので、そろそろリニューアルを考えてはどうか。

評価委員意見（平成31年度）

- ・図書館だよりの情報が、いろいろ有り、とても良いと思います。
- ・ホームページのアクセス数が、年度別で把握できるようにしてほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	次世代を担う青少年の育成	担当課名	中央公民館
事務事業名	文化少年団活動	担当者名	大平 佳乃

事業の目的・内容	学校教育活動以外において、青少年に文化活動を図り、青少年の健全育成を図る。			
	収入 153,699円 (繰越金 22,199円 補助金 60,000円 入団金・材料費 71,500円) 支出 117,510円 (各講座活動費 72,000円 解団式・クリスマス会 39,310円 通信費 6,200円)			
事業の対象	小学生及び中学生			
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金額	147 千円	154 千円	0 千円

事業の実績・成果等(数値)	文化少年団本部長 教育長 新渡 幹夫			
	団員募集 4月25日(各小学校へ案内配布)			
	結団式 令和元年6月8日(土) 本部長挨拶 指導者紹介 団員自己紹介 誓いの言葉			
	講座(5講座) 将棋 茶道 料理 版画 郷土カルタと百人一首			
	指導員 16人 団員数 36名(延べ45名)			
	解団式・クリスマス会 令和元年12月7日(土) 修了証授与 本部長あいさつ			
	団員代表お礼の言葉 くじ引き抽選会 お茶会 昼食会 解散			

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	成果：複数の講座に加入する子どももあり、熱心かつ楽しんで受講している。 課題：指導者の高齢化により、今後の指導者不足が懸念される。 少子化やスポーツ少年団に参加する子どもが増えており、団員が年々減少傾向にある。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

・休日に部活動に行っていない児童も結構いるので、やはりPR活動不足と思う。一度登録したら出席しなければいけないと負担に思わせるのではなく、メンバーカードへのスタンプ等で意欲付けしていったらどうか。 ・子どもにアンケートを取ってほしいです。何の講座に興味があるか、知ることができるのでは。 ・子どもたちの居場所のようになっているということを知り、活動の時間帯を工夫すると、参加する人たちが増加すると思います。
--

評価委員意見(平成31年度)

・日本の文化を学べる場所なので、今後もぜひ継続してほしいです。楽しそうだと参加者も増加していくと思います。 ・子供たちにアンケートをとり、今の子供たちの興味を知ることが必要ではないかと思う。 ・子供たちが本当に参加したいと思う講座内容なのか、少々疑問。 ・スポーツ少年団に入る傾向は確かにあるが、文化的な室内での知的な遊びに興味を抱く子供も多くいるので、やはり周知と参加しやすさがカギだと思う。

事務事業評価シート

施 策 名	地域を支える人材の育成	担当課名	図書館
事務事業名	図書館サークル・おはなしボランティアの育成	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	読書の楽しさと素晴らしさを伝えるおはなしボランティアやサークルを育成し、図書館との協働による読書の推進を図る。			
事業の対象	町民			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	10 千円	10 千円	10 千円

事業の実績・成果等 (数値)	【朗読の会 秋桜】 会員：8名 活動内容：定例会（月1回）、朗読のつどい（年1回）、学校・保育園へ読み聞かせ訪問
	【おはなしサークル虹色の会】 会員：13名 活動内容：定例会（月1回）、ドキドキおはなし会（年2回）、学校へ読み聞かせ訪問、出前おはなし会
	【子ども司書クラブ】 会員：1名 活動内容：図書館行事・カウンター業務お手伝い、おすすめのPOP作成 など

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない	
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 各団体が精力的に活動を続けている。 【課題】 各サークル会員の平均年齢が高くなり、新規参加者の加入が必要となっている。一般の方への図書館サークルの周知を図るほか、学校と連携しPTAや図書委員会、学生ボランティアなどの協力を得られるよう努める。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

・興味のある中高校生の協力を得て、活動を継続及び拡充してほしい。

評価委員意見(平成31年度)

・本の世界、お話の世界の豊かさを大人が知り、子供たちへ橋渡しして行けたら、心の育つチャンスとなると思っています。今後の方向性や活動が楽しみです。

・学校やPTAと協力することにより、たくさんの情報を共有することができるので、これからの活動に期待する。

・どの事業においても高齢化が懸念されているようなので、もっと幅広い世代に声を掛ける必要があるのではないかと。

・ボランティアやサークルのやりがいを見ると、やはり、人々に喜んでもらえる活動が重要。コロナ禍の中で、それをどのように行っていくのかを検討をお願いしたい。

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	図書館
事務事業名	親子ふれあい読書「家読」の奨励	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	肉声による親子ふれあい読書を推進するために実施。 ○ 健康づくり課主催の健診（6ヶ月及び1歳6ヶ月検診）の場を活用したブックスタート、ブックスタートプラスを実施。講話や読み聞かせ、ブックスタートパックの贈呈 ○ ヨチヨチおはなし会（乳幼児対象のおはなし会）			
事業の対象	○ 乳幼児とその保護者：ブックスタート、ブックスタートプラス、ヨチヨチおはなし会			
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金額	10 千円	5 千円	263 千円

事業の実績・成果等（数値）	・ブックスタート事業 12回（63組延べ126名） ・ブックスタートプラス 6回（61組延べ122名） ・ヨチヨチおはなし会 10回（45組延べ95名）[再掲] ・乳幼児の保護者版図書館だより「ほんわか」発行 2回（各380部）[再掲]			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	【成果】 保護者の交流の場や来館のきっかけとなっている。 【課題】 親子で図書館を利用しやすい環境づくり。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・今や大人も子供もスマホ依存予備軍である。テレビと同じで能動的な思考ではないので、受け身人間が増えるばかり。読み聞かせと自力読書の間になかなく、本屋や図書館に行きたい人間には育たない。

・この事業があるので、意識して本を読んでいます。良い取組みと思います。

評価委員意見（平成31年度）

・時代はどんどん変化し、ゲームで過ごす時間が多くなり、なかなか本と一緒に過ごす時間が少なくなっているのでしょう。想像の世界を旅する子どもが徐々にでも増えることを願います。

・家読も様々な仕組みを変えながら今まで継続して行っているということは、やはり本から得るものが大きいからなのだと思う。これからも根づかせるための活動を期待する。

・親子で読書の時間を見つけるのも難しい。

事務事業評価シート

施 策 名	学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	担当課名	図書館
事務事業名	学校等と連携協力した読書活動の推進	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	図書館サークルをはじめ、町の各種団体、学校、地域と連携し、読書の普及を図る。			
事業の対象	町民			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	10 千円	10 千円	10 千円

事業の実績・成果等（数値）	【学校・幼稚園・保育園】 ・小学校「朝の読書」での読み聞かせ 86回 ・職場体験・インターンシップ受入れ 4回（中学生～大学生 8名） ・図書館見学・生活科探検の受入 2回（18名） ・遠隔地の学校への配本 1回（395冊） ・保育園・幼稚園への読み聞かせ訪問 4回 ・出前おはなし会 1回 ・幼稚園・保育園・小学校への巡回配本 11か所（1,535冊） 【その他】 ・団体貸出 6団体（248冊） ・野辺地ロータリークラブ主催読書感想文コンクールへの後援			
---------------	--	--	--	--

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	【課題】 ・図書館ボランティアやサークルをはじめ、関係機関と連携協力しながら、読書活動の推進に努めていく。		
事業の 方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		A	A	A	A	A	A

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・小学校下校時の立ち寄り（本を借りる、返す）を認め、本にふれあう機会を増やしてほしい。

評価委員意見（平成31年度）

・本とふれあう時間が少しでも出来るようになり、嬉しく思っています。図書館の行事がいろいろと重なっている部分が多いので、もう少し工夫が必要だと思います。

事務事業評価シート

施 策 名	社会教育推進のための基盤整備	担当課名	図書館
事務事業名	図書館施設の整備	担当者名	貝塚 千佳

事業の目的・内容	☐ 施設の老朽化に伴う修繕を行い、利用に供する。 ☐ 環境整備を行い、安全・環境改善を図る。		
事業の対象	施設及び設備		
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算
	金 額	524 千円	4,430 千円
			令和 2 年度予算
			50 千円

事業の実績・成果等 (数値)	○主なもの		
	・ 図書館玄関タイル修繕 495,000円 ・ 図書館トイレ改修工事 2,235,600円 ・ 図書館視聴覚設備更新工事 699,840円 ・ 図書館閲覧室照明塔改修工事 739,800円 ・ 業務用掃除機 30,925円 ・ 電動シュレッダー 45,360円		

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☒ 十分できている	☐ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☒ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている	
評価説明及び 考察、課題	【成果】		
	・ 修繕を実施したことにより、環境整備や緊急時の安全性が向上した。		
事業の 方向性	【課題】		
	・ 今後も修繕、環境整備を実施するための予算確保に努める。		
事業の 方向性	☒ さらに重点化する	☐ 見直しのうえ継続する	☐ 事業の縮小を検討する
	☐ 休止、廃止を検討する	☐ 事業完了	

事務評価委員の評価

総合評価	A	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		A	A	A	B	A	A

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

・過ごしやすい環境にさせていただき有難いです。

評価委員意見(平成31年度)

・図書館が過ごしやすくなって、とても良いと思います。

・快適に過ごせる環境づくりに感謝します。

・図書館の改修工事は必要なこと。一度に3つも4つもの工事を計画するのではなく、1年目、2年目、3年目と年次計画は立てられないものなのか。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	県史跡「藩境塚」「野辺地戦争戦死者の墓所」ほか町内史跡管理	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	・県史跡「藩境塚」「野辺地戦争戦死者の墓所」「一里塚」の維持管理。 ・町指定・未指定史跡の維持管理。		
事業の対象	一般		
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算
	金額	618 千円	1,183 千円
			令和 2 年度予算
			526 千円

事業の実績・成果等（数値）	支出	藩境塚維持管理費	470,881円
		戦死者の墓所事業費	20,000円
		町内史跡標柱（5ヶ所）修繕	363,420円
		野辺地戦争戦死者墓所道路標識修繕	329,400円
	■藩境塚 開放期間：4月8日～11月30日（公衆トイレ清掃/週5日）		
	■野辺地戦争戦死者の墓所 開放期間：通年（花壇整備/馬門長生会）		
	■一里塚 開放期間：特になし（2か月に1回草刈りを実施）		
	■町指定・未指定史跡		
	・町内史跡標柱（5ヶ所）修繕を実施		

事業の評価 (自己評価)	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び 考察、課題	成果： 史跡の維持管理は図れており、利用者から大きな不満の声等はない。 課題： ・一里塚公有化と活用の検討。案内板等の老朽化及び記載内容の更新。 ・各史跡に設置している案内板等の修繕。 ・藩境塚公衆トイレの老朽化が見られ、修繕が必要。		
事業の 方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中演委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	C	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・史跡への通路がぬかるむ、などは改善してほしい。 ・野辺地側の道が良くないため、歩きにくい。通路の整備が必要と思います。

評価委員意見（平成31年度）

・日本の歴史の1ページとなるたくさんの史跡が野辺地町には残っています。1つ1つの事業が大切に行われて、守られていく事を希望します。 ・文化財の保護に努め、より良きものにするための努力が伺える。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	国登録有形文化財「旧野村家住宅離れ」の公開と維持管理。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	295 千円	481 千円	330 千円

事業の実績・成果等 (数値)	公開期間：４月１日～１１月３０日		
	支出	行在所維持管理費	481,070円
	施設の公開、通常の維持管理、池掃除のほか、庭園内の樹木剪定を実施。 文化財防火デーには消防訓練を実施した。		
	見学者（記帳者）数：837人（うち町外309人） ※H30記帳者：1,138人（うち町外336名）		

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：継続し町内見学者が増え、郷土史への関心を高める施設となっている。 課題：　・通常は無人の施設なので防災・防犯上の課題がある。 ・見学者への駐車スペースの確保。 ・文化財の持続した維持管理を図るため、管理・活用計画策定を検討したい。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・駐車スペースとセキュリティの課題を検討してほしい。

・駐車場が無いので、近くに利用できる所があれば良いと思います。また、トイレの表示がないのであれば良いと思う。

評価委員意見（平成31年度）

・今後も継続してほしい。バスで来町した方々への工夫もされていて、遠くから近くから、たくさんの方々に感動を与えられるイベントも増えていったほしいと思いました。

・見学に来る人が今後増えることを期待し、駐車場、トイレの整備に努めてほしい。行在所内はとてもきれいになった。

・もっと広くアピールをしても良いと思う。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の保護・保存	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	文化財調査事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	町内の指定・未指定文化財の保護と活用を図るために、文化財調査を行う。 また、調査文化財は保存と継承を図るため、文化財指定（町・県等）を進める。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	527 千円	1,358 千円	3,464 千円

事業の実績・成果等（数値）	野辺地の山車行事と野辺地の民俗に関する調査を2カ年で実施。 調査業務は弘前大学人文社会科学部民俗学専門教授とその実習生に委託した。 調査内容は報告書を発行（300部）し、関係者への配布により周知を図った。 調査者委託者：弘前大学人文社会科学部、調査回数：10回、調査員数：23名 【当町の文化財】 ・国指定重要文化財…2件、国登録有形文化財…1件、県指定文化財…7件、 町指定文化財…7件			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 調査により、文化財（野辺地の山車行事）の概要を知ることができた。 課題： ・ 調査結果の活用により、当該文化財の県指定に向けた取組みを検討。 ・ 調査結果を活用し、文化財の保存・継承に関する取組みを検討したい。 ・ 結果から深化調査が必要な部分も見えてきたため、更なる調査も検討。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・「のへじ祇園まつり」報告書の作成は、次の世代に伝える上で、大変役立っていると思う。

・報告書を各祭典部に配布して、活用するように働きかけてほしい。

評価委員意見（平成31年度）

・視点を変えると、町の文化、全てが町の宝であると思います。絶やすことなく活動しているのは、素晴らしいと思います。今後もぜひ継続してほしいです。

・これからの文化の継承に、とても意義のある事業だと思う。せっかくできた報告書を町民が様々な機会を活用してもらおう工夫ができたらもっと素晴らしいのではないかな。

事務事業評価シート

施 策 名	文化財の整備と活用	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	文化財活用事業の実施	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	文化財の周知・活用と活用人材を育成するため、下記事業を実施した。 ①縄文PR・活用事業の開催 ②まちあるきの開催 ③旧野村家住宅離れ（行在所）夜間特別公開の実施			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	平成 2 年度予算
	金 額	278 千円	1,326 千円	1,711 千円

事業の実績・成果等（数値）	1. 縄文PR・活用事業 ①縄文関係（土器づくり・食・土偶グッズづくり）WS（延べ参加者数/58名） ②縄文くからPR・グッズ製作事業（触れるレプリカ・イラスト・グッズ製作） 野辺地中学校美術部・県内デザイナーと連携し、グッズ5種を製作・販売。 2. まちあるき事業（北前船関連文化財、駅前周辺文化財）参加者/27名 3. 旧野村家住宅離れ夜間特別開放 来場者数/256名（H30/250名） 雅楽演奏、イルミネーション・児童が作成した竹灯籠によるライトアップ。			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 文化財の周知・活用を図ることが出来た。 課題： ・若い世代の文化財活用人材・団体の育成が課題。 ・文化財に関心をもってもらえるような事業の検討、実施。 ・事業効果や成果が短期的には見えない為、評価や改善が難しい。 ・徐々に文化財を知ってもらうため、継続した事業実施が必要。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中演委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・樹木剪定にお金がかかるのは仕方がない。縄文PRはいまいち伝わってこない。

評価委員意見（平成31年度）

・くからグッズが売れているのは、嬉しいです。若い世代はもちろんですが、文化財についての知識や町の歴史に関心のある人達の増加に期待します。

・縄文くからが少しずつではあるが、ゆるやかに浸透してきていると実感する。地道でもよいので長くPR活動を行い、文化財へ興味をもってもらいたい。

・若い人達が参加したくなる内容であってほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	民俗芸能の保存と継承	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	・「祇園囃子」「ささ踊り」「権現舞」「沖揚げ音頭」などの民俗芸能の後継者育成支援や発表機会の充実に努める。 ・映像や音声による民俗芸能の保存に努める。			
事業の対象	一般（民俗芸能保存団体）			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	0 千円	0 千円	0 千円

事業の実績・成果等（数値）	民俗芸能保存団体の現状調査を引き続き実施。 H31年度は、国指定選択無形民俗文化財・権現舞（馬門熊野神社敬神会）の調査を4回実施。			
---------------	--	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☐ おおむねできている	☒ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い	
評価説明及び考察、課題	成果： 調査文化財の概要を把握ことができた。 課題： ・各団体後継者難に苦労しているため、後継者育成方法が課題。 ・団体の現状把握を図るための調査を継続し実施する必要がある。 ・芸能の保存、団体支援方法等を検討する必要があるが、手が回らない。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	C	中演委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		C	C	C	C	B	C

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・映像や音資料の保存を行ってほしいです。

・高齢化に伴い、ますます減少すると思います。

評価委員意見（平成31年度）

・伝えていける方々が年齢を重ね、高齢化しているのが心配です。各活動のチャームポイントを広め、誰もが興味のある、感動出来るイベントとして残してほしいです。町の宣伝にもなると思います。

・真剣に取り組まなければすぐになくなると思う。

・課題山積といった状態。祭りは人との接触が前提だが、コロナ禍での祭りは、今後どうなっていくかが全く見通せない。

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	特別展・各種講習会等による普及事業の開催	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	郷土の歴史や文化財について理解を深める講座を開催し、郷土を愛する人財の育成を図る。 ふるさと学習やボランティアガイドの実施、企画展開催、関係団体と連携し、野辺地町の歴史に関する普及事業を実施する。 また、資料貸出や資料調査対応、歴史に関する出前講座等の対応をする。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	15 千円	100 千円	138 千円

事業の実績・成果等（数値）	1. 企画展の開催（町広報関連企画展・山車行事企画展）延べ来場者数：82名 2. 各種講座の開催 ①ふるさと歴史講座（3回開催/述べ参加者数120名） ②古文書講座（入門編：14回/述べ参加者数210名） 3. ふるさと検定「のへじ検定」の開催 受検者：22名（初級7名/、中級/15名）、合格者数：19名 4. 校外学習による歴史教育事業 実施回数：3回、参加者数：91名			
---------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。）		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☐ おおむね達成できている	☒ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果： 学校との連携により、若い年代への教育普及を図ることができた。 課題： ・ 歴史に興味のない方々に対するアプローチの仕方を検討したい。 ・ 事業の効果測定が難しいことから、成果が見えにくい。 ・ 学校と連携し、長期的に事業を行うことが人財育成に繋がるのでは。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見（参考：平成30年度の評価意見）

・ 固定層以外にも興味を持ってもらうためにも、ふるさと検定のPRをしっかりやってほしい。 ・ のへじ検定を更に進めてほしい。野辺地町に愛着を持てる人々が増えて、ふるさとを大切にすることができると思います。

評価委員意見（平成31年度）

・ 今後も継続してほしいです。 ・ とても良い事業企画をしていると思う。これからも時代に合った事業に姿を変えながらも続けてほしい。 ・ PR不足を感じる。 ・ ふるさと検定は是非とも続けていきたい事業。小学生が受けられるような取組みをお願いしたい。

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	資料のデータベース作成・整備事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	文化財保存を図るため、歴史民俗資料館収蔵資料の整理と管理を行う。 また、収蔵資料の活用を図るため、整備・調査を行う。			
事業の対象	一般			
事業費	年 度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金 額	482 千円	484 千円	511 千円

事業の実績・成果等 (数値)	・収蔵資料の整理（リスト化・写真撮影）、データベース作成を継続。 総資料数：19,934点 ・資料整備業務を委託（委託先：野辺地町歴史を語る会）し、未整理の民具資料の確認・リスト化・写真撮影を進めた。 ・整備資料は、資料館の展示リニューアルを行う際に活用することとした。			
-------------------	---	--	--	--

事業の評価（自己評価）	必要性（町民ニーズに変化があり、事業を行う必要がある。）		
	☐ 十分必要である	☒ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。）		
	☐ 十分寄与する	☒ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか。）		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度（計画通りに目標を達成できたか。）		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：徐々にではあるが、資料の整理と管理が進んできている。 課題：・膨大な遺跡発掘調査出土資料の管理や収蔵スペースの確保。 ・未活用収蔵資料の管理、活用方法の検討。 ・継続して収蔵資料の整備、確認を行い、整備結果の周知を図りたい。		
事業の方向性	☒ さらに重点化する ☐ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	A	B

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

・毎年50万円ほど予算計上しているが、その分、着実にデータベース化が進んでいるようなので、一般利用できるところを見せてほしい。

評価委員意見(平成31年度)

・時間はかかると思いますが、とても大切な事だと思うので今後も継続してほしいです。

・データベース化はまだ完全ではないだろうが、着実に町民のこれからの未来のために役立つ事業だと思う。

・データベース化の進捗度はどこまでいっているのか。また、その後、どのように活用していくのが明確にしてほしい。

事務事業評価シート

施 策 名	資料館施設の整備充実	担当課名	歴史民俗資料館
事務事業名	館内環境整備事業	担当者名	山崎 杏由

事業の目的・内容	施設老朽化による修繕や、利用者のニーズに答えるための館内環境整備を行う。			
事業の対象	一般			
事業費	年度	平成 30 年度決算	平成 31 年度決算	令和 2 年度予算
	金額	823 千円	120 千円	41 千円

事業の実績・成果等 (数値)	①ホール照明修繕	51,700円
	②史跡環境整備用チェーンソー購入	68,580円

事業の評価（自己評価）	必要性(町民ニーズに変化があり、事業を行う必要があるか。)		
	☒ 十分必要である	☐ おおむね必要である	☐ あまり必要でない
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)		
	☒ 十分寄与する	☐ おおむね寄与する	☐ あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)		
	☐ 十分できている	☒ おおむねできている	☐ できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)		
	☐ 達成できている	☒ おおむね達成できている	☐ 達成できてない
自己評価	B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている	
評価説明及び考察、課題	成果：施設の適切な維持管理修繕等を行った。 課題：施設老朽化により、修繕箇所が年々増えることが推測される。 ・町の計画等を鑑みながら施設修繕を行い、持続した環境整備を図りたい。		
事業の方向性	☐ さらに重点化する ☒ 見直しのうえ継続する ☐ 事業の縮小を検討する ☐ 休止、廃止を検討する ☐ 事業完了		

事務評価委員の評価

総合評価	B	中濱委員	上野委員	前田委員	江刺家委員	村木委員	H30参考
		B	B	B	B	B	B

評価委員意見(参考:平成30年度の評価意見)

冬期間、館内は寒々しているので、今後のために空調設備の整備を検討してはいかがか。

評価委員意見(平成31年度)

・予算内で少しずつではありますが手をかけているので、今後も今まで以上に、気をつけながら計画を立て修繕してほしいと思います。

・せっかくある建物なので修繕はしっかりして欲しい。